第４学年２組　国語科「家族やふるさとを思う心をえがいた本を読もう
『世界一美しいぼくの村』」

美しい心発見！ブックコマーシャルを発表しよう

指導者　　島本　佳代子

1　単元設定の理由

○　本単元は，小学校学習指導要領第３学年及び第４学年の「C読むこと」の内容に基づき設定した。学習指導要領には，以下のように示されている。

> ⑴ウ　場面の移り変わりに注意しながら，登場人物の性格や気持ちの変化，情景などについて，叙述を基に想像して読むこと。
> オ　文章を読んで考えたことを発表し合い，一人一人の感じ方について違いのあることに気付くこと。

単元構成図

美しい心発見！ブックコマーシャルを発表しよう

	活動の内容	学習目標
第一次	「世界一美しいぼくの村」を通読して，初発の感想を出し合い，学習のめあてを知る。	ブックコマーシャルを発表するというめあてをもち，進んで本を読み，選ぼうとしている。
第二次	美しいものについて読み取り，ブックコマーシャルメモにまとめる。	美しいものについて，ブックコマーシャルメモにまとめることができる。 最後の一文から，無くならなかった美しいものについて，ブックコマーシャルメモにまとめることができる。
	「世界一美しいぼくの村」のブックコマーシャルを発表し合い，感想を交流し合う。	友達のブックコマーシャルを見て，それぞれの感じ方の違いやよさに気付くことができる。
第三次	自分で選んだ本から家族や故郷を思う心を読み取り，ブックコマーシャルメモにまとめ，発表し合い，感想を交流し合う。	ブックコマーシャルメモに，あらすじ，家族や故郷を思う心を読み取ったものをまとめることができる。 友達のブックコマーシャルを見て，それぞれの感じ方の違いやよさに気付くことができる。

○単元観

本単元は，家族や郷土を思う心が描かれた本をブックコマーシャルとして紹介し合う活動を通して，登場人物の行動や会話の叙述をもとに，家族愛や郷土愛を感じ取ったり読み取ったりする力を育てることをねらいとしている。そこで，学習指導要領Ｃ(2) ア「物語や詩を読み，感想を述べ合うこと。」，エ「紹介したい本を取り上げて説明すること。」に対応させ，「ブックコマーシャルを発表して友達に伝える」という言語活動を設定した。

本教材「世界一美しいぼくの村」は，戦争を背景にして，家族や郷土への愛が描かれている物語である。冒頭で作品の設定が紹介され，続いてヤモの目を通して登場人物の行動や美しい村の様子が描かれている。また，戦争への不安を感じさせる表現が作品の中に伏線としてちりばめられており，最後の一文の衝撃的な結末につながる構成になっている。児童は読み進めるうちに，日常の平和を壊してしまう戦争の恐ろしさを感じるとともに，登場人物の心情やその後の展開について様々な想像をかき立てられ心を動かされるであろうと考える。また，最後の一文から思いを巡らせ，ヤモの家族や故郷への思いを想像し交流させることで，友達の読みを知り新たな発見をしたり，自分の読みを深めたりすることが期待できる。さらに，個々の児童が読み広げた家族や故郷を思う心を描いた本をお互いにブックコマーシャルとして紹介し合うことで，児童の読書意欲を高め，読みたい本を増やし，実際に読んでみて友達の感想と自分の感想を比べることができると考える。

○児童観

本学級の児童（22 名　男子 10 名，女子 12 名）は，国語の学習に意欲的であり，児童アンケートでは 90%の児童が「国語の学習が好き」と答えている。４月の物語教材「こわれた千の楽器」，６月の物語文教材「走れ」では，行動や会話に着目して中心人物の心情を読み取る学習を行った。心情を読み取る際に，登場人物の行動や会話に着目することができる児童は，ノート記述や単元テストから９割以上いる。しかし，場面と場面とを関連付けて物語全体を通して中心人物の心情の変化を読み取ることができる児童は，単元テストの結果から６割以下となっている。

読書活動においては，朝読書の時間や休憩時間には集中して読書を進める児童が多い。１学期の読書量が 5,000 ページ以上の児童が 63%（14／22），3,000 ページ以上の児童が 77%（17／22）であった。しかし，朝読書の様子や読書貯金カードを見ると，自分の好きなジャンルの本ばかり読む児童が多いことから，読書の幅は広がっていないことを感じる。

○指導観

指導に当たっては，「美しい心発見！ブックコマーシャルを発表しよう」という言語活動を設定した。行動や会話に着目して中心人物の心情を読み取り，物語全体を通して読んで感じたことや考えたことを伝える活動を積み重ねることで，一人一人の感じ方の違いを取り入れ，自分の言葉で読み取ったことを表現する力を育てていく。

ねらいに基づき，次の３点において工夫して学習を進める。

第一に，単元に入る前に家族や郷土を思う心を描いた本の読み聞かせを行い，それらに興味を持って自ら選んで読もうとするように意欲付けをする。また，並行読書をさせるために家族や故郷を思う心を描いた本を集めて教室に置き，読書につながる環境づくりをしておく。これにより，児童が学習活動への見通しをもち，本教材の学習を進めていくことができるようにする。

第二に，人物関係図を用いて，登場人物の関係を整理しながら心情を読み深めていく。直接的に書かれた心情を表す表現だけでなく，行動や会話の言葉に着目させながら，人物と人物のつながりを鮮明にしていく。また，教材文の場面設定である内戦のアフガニスタンがイメージしやすいように，写真や地図の補助資料を活用する。

第三に，題名にもなっている美しいものについて，読み取ったことをブックコマーシャルメモに書く。児童が美しいものとして考えた理由や，最後の一文を読み取る前後で美しいものがどのように変化したのかまとめる。目に見えるものだけが美しいのではなく，家族や故郷を思う心や絆等，目に見えないものにも美しさがあることを読み取らせる。さらに，自分で選んだ本に描かれている美しさを見つけながら読み進め，メモにまとめ，発表し合う。

2　単元の目標

○　家族や故郷を思う心が描かれている本に関心をもち，進んで読んだり，感想を伝えようとしたりしている。【国語への関心・意欲・態度】

◎　家族や故郷を思う心について，登場人物の行動や会話に着目して読みとることができる。【読むこと　ウ】

○　友達のブックコマーシャルを聞き，一人一人の感じ方について違いがあることに気付くことができる。【読むこと　オ】

○　指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解し，適切に使うことができる。【言語についての知識・理解・技能　イ（ク）】

3　単元の評価規準

	国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
単元の評価規準	○ブックコマーシャルを発表することに興味をもち，家族や故郷を思う心が描かれた本を進んで読もうとしている。	◎家族や故郷を思う心について，登場人物の行動や会話に着目して読みとっている。 ○友達のブックコマーシャルを聞いて，一人一人の感じ方には違いがあることに気付いている。	○文脈に沿って指示語や接続語の役割を理解し，書いている。

4　指導計画（全８時間）

次	学習活動	めざす児童の姿	評価規準（評価方法）
一	ブックコマーシャルをつくるという学習の見通しをもつ。 「世界一美しいぼくの村」を通読し，感想を出し合う。（1）	**ブックコマーシャルがどんなものか分かりました。どの本でコマーシャルをつくろうか，楽しみです。**	○　ブックコマーシャルをつくることに意欲を持ち，どんな本のブックコマーシャルをつくろうか話し合っている。【関・意・態】（行動観察）
	美しい心発見！ブックコマーシャルを発表しよう		
二	コマーシャルにしたいところを見つける。（1）	**私は，パグマンの自然の美しさをコマーシャルにしたいです。春には花が咲き乱れ，夏には果物が実るところが，すごくきれいだと思うからです。**	○　教材文の中から，コマーシャルにしたいところを見つけている。【関・意・態】（行動観察，ノート）
	物語の中で，美しいものはどんなものか読み取る。（1）	**美しいものとは，パグマンの季節で変わる自然や，ヤモがハルーン兄さんを心配する心，家族を思う心，パグマンを思う心です。**	○　行動や会話の叙述に着目し，家族や故郷を思う心を読み取り，自分なりの言葉で理由付けをして読み取っている。【読む】（行動観察，ノート，メモ）

	最後の一文と美しいものを結び付けて読み取る。（1） （本時５／８）	**戦争によって無くならなかったのは，目に見えない家族や故郷を思う心や楽しかった思い出です。**	○　美しいものが戦争の前後でどうなったのかについて，登場人物の行動や会話に着目しながら自分の考えをメモにまとめている。 【読む】（メモ）
	「世界一美しいぼくの村」のブックコマーシャルを発表し，感想を出し合う。（1）	**この作品の美しいものは〇〇だと思います。その理由は～からです。でも，その年の冬，村は戦争で破壊されてしまいました。しかし，〇〇は無くならず，ずっとヤモの心の中で生き続けると思います。**	○　メモを使って，「世界一美しいぼくの村」のブックコマーシャルを発表している。 【読む】（行動観察） ○　文脈に沿って，指示語や接続語の役割を理解し，メモに書いている。 【言語】（メモ）
三	自分で選んだ本のブックコマーシャルのメモを作成する。（2）	**自然のことだけでなく，行動や会話から家族や故郷を思う美しい心が描かれているところを見つけて，メモにまとめることができました。**	○　何（誰）に対する心なのかをとらえて，メモにまとめている。 【読む】（行動観察，メモ） ○　文脈に沿って，指示語や接続語の役割を理解し，メモに書いている。 【言語】（メモ）
	ブックコマーシャルを発表し合い，感想を交流する。（1）	**〇〇さんのブックコマーシャルは，～のところに美しさを見つけていました。僕は，…のところだと思っていたけど，～のところも美しい心が表れているなと思いました。とてもいいブックコマーシャルでした。またこの本を読みたいです。**	○　友達のブックコマーシャルを見て，特に興味を持ったところを中心に感想を伝えている。 【読む】（行動観察，感想カード）

５　本時の展開

⑴ 本時の目標

○　最後の一文から，戦争で無くなったものと無くならなかったものを話し合うことを通して，美しいものについて自分の考えをメモにまとめることができる。

⑵ 観点別評価規準

○　美しいものが戦争の前後でどうなったのかについて，登場人物の行動や会話に着目しながら自分の考えをメモにまとめている。【読む能力】

⑶ 準備物

挿絵，黒板掲示用カード，ブックコマーシャルメモ

(4) 学習の展開

学習活動	指導上の留意点（○）と支援（◆）	評価規準（評価方法）
1　前時までの学習を振り返り，本時のめあてを設定する。	○　美しいものとはどんなものだったか，教室掲示で確認する。	
最後の一文を考えて， 「世界一美しいぼくの村」のブックコマーシャルメモを完成させよう。		
2　最後の一文を読み，パグマンの村やヤモたちはどうなったか想像させる。	○「その年の冬，村は戦争ではかいされ，今はもうありません。」という最後の一文から，春や夏にあった美しい自然や町の様子はどうなったのか想像させる。 ◆　想像できにくい児童には，P64 や P73 のパグマンの様子，P66 や P67 の町の様子の挿絵を振り返らせる。	
3　前時で学習した美しいものについて，戦争によってどうなったのか読み取る。　（ペア→全体） （無くなってしまった） ・自然　・友達，町の人 ・家，建物　・動物 ・夢　・希望　など （無くならなかった） ・兄さんに会いたい気持ち ・家族を思う心　・絆 ・パグマンで過ごした楽しい思い出　など	○　ブックコマーシャルメモの２枚目をふり返らせ，教材文の美しいものについて確認させる。 ○　美しいものが戦争によってどうなったか，その理由を，パグマンの様子や登場人物の行動や会話をもとに想像して読み取らせる。 ◆　無くならなかったものに気付きにくい児童には，P74 の挿絵のヤモの家族に着目させる。手をつないで前を向いていることに気付かせ，ヤモたちはどんなことを考えているのか想像させる。 ○　戦争の前とは違う形で残っているものがあると読み取った児童の発言については，その理由を全体に問いかけ，残っている美しいものを考えさせる。	

4　コマーシャルメモの記述を振り返らせ，美しいものについて自分の考えをメモに書く。 （評価問題）	○　前時までに書いているコマーシャルメモを振り返らせ，最後の一文を結び付けた美しいものに対する自分の考えを４枚目のメモにまとめさせる。 ◆　書き出しを予め書いているコマーシャルメモを準備しておく。 （前時までに，美しいものを自然と書いていた児童） ○でも，戦争によって美しい自然は全て無くなってしまいました。しかし，家族やパグマンの村を思う心は無くなっていません。 ○でも，その年の冬に村は戦争で破壊されて今はもう無くなってしまいました。しかし，家族のことを思う優しい気持ちは無くなっていません。 （前時までに，美しいものを家族や故郷を思う心と捉えていた児童） ○目に見える自然が無くなっても，兄さんと一緒に過ごしたり家族で果物をもぎ取ったりした楽しい時間は無くなりません。	○戦争の前後で美しいものがどう変化したのかについて，登場人物の行動や会話に着目しながら自分の考えをメモにまとめている。 【読む】 （メモ）
5　メモを発表し，交流する。（２～４枚目） （ペア→全体）	○　前時までに読み取っていた美しさが，最後の一文を結び付けたことにより変化したことが分かるように，２～４枚目のメモを発表させる。 ○　ペアの発表を，自分のコマーシャルメモと共通点や相違点を考えながら聞かせていく。	